

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	健康づくり課
		担 当	健康増進 G 中村
会議名 (審議会等名)	平成 27 年度 第 1 回嬉野市健康づくり推進協議会		
開催日時	平成 27 年 5 月 25 日(月) 14:00~15:20		
開催場所	嬉野市役所 塩田庁舎 3 階 3-2.3 会議室		
会議の公開の可否	㊦ ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部不可 の場合はその理由	/		
出席者	委 員	土井委員 田中委員(会長) 西村委員 北委員 中島委員 井上委員 古河委員(副会長) 大川内委員 松本委員 橋口委員 樋口委員 中村委員	
	事務局	市民福祉部長、健康づくり課長、健康づくり課副課長、健康づくり課(健康増進 G)係員	
	その他		
会議の議題	別紙「協議会資料」のとおり		
配布資料	「協議会資料」、「嬉野市新型インフルエンザ等対策行動計画概要版」		
審議等の内容	別紙のとおり		

審議等の内容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	健康づくり課
議 題	1 開会、2 委嘱状交付、3 市長あいさつ、4 協議会会長のあいさつ		
内 容	事務局の進行により、議題 1～4 までを進めた。		
審議経過		<p>1開会 (省略)</p> <p>2委嘱状交付 行政嘱託員の交代により、委員に変更があったため、副市長より中島委員、井上委員へ委嘱状の交付が行われた。</p> <p>3市長あいさつ (省略) ※副市長出席、あいさつ後退出</p> <p>4協議会会長のあいさつ (省略)</p>	
その他			

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	健康づくり課
議 題	5-I 平成 26 年度保健事業の実績について		
内 容	事務局より、平成 26 年度保健事業の実績について説明を行った。		
審議経過	委員	妊婦歯科健診で受診率が伸びないとの説明があったが、対象となる母子健康手帳の交付を受けた妊婦の数はどの程度か。	
	事務局	180名前後である。	
	委員	特定健診・特定保健指導で平成22年度から受診率が伸びていないが、受診率向上の対策として行われた3年連続未受診者を対象にしたアンケート調査の結果は出ているか。	
	事務局	出ている。未受診の理由としては、「仕事で忙しいため受診できない」、「職場で受診する」、「症状が出たら病院へ行く」等であった。	
	委員	特定健診は国保の事業であると思うが、対象者はどういった方か？	
	事務局	自営業の方など、社保以外の方が対象である。	
	委員	アンケートの結果を受け、今後の対策としてはどういったことを検討しているのか。	
	事務局	健診の期間が短いという意見もあったので、受診期間を延ばすことなどを考えている。また、電話での案内も検討している。	
	委員	受診時期が繁忙期と重なると受診が難しいので、時期的なことも考慮してもらいたい。	
	事務局	検討する。	
	委員	がん検診の受診率が25年度と比較してやや減少しているが、受診率向上のための具体的な対策はどういったことを考えているのか。	
	事務局	広報等でさらに周知を図りたいと考えている。	
	委員	脳ドックは100名の定員に対して、受診者が100名となっているが、定員は増やせないのか。	
	事務局	3医療機関にお願いしているが、各医療機関と調整し、病院側の受け入れ可能な人数で定員を決めている。医療センターでは当市だけでなく、他自治体からの受け入れもあるため当市分は50名となってい	

	<p>委員</p> <p>事務局</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>る。なお、国保事業でも別に脳ドックを実施している。</p> <p>脳ドックは1人につき何回でも受診可能なのか。</p> <p>1人1回である。</p> <p>ピロリ菌感染検査の対象者年齢上限はなぜ50歳までなのか。</p> <p>若い年齢で除菌しなければ効果がないため、その年齢を設定してあると考える。</p> <p>(委員の発言に異議なし)</p> <p>他に発言はなく、審議の結果、平成26年度保健事業の実績については了承された。</p>
その他		

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	健康づくり課
議 題	5-II 平成 27 年度保健事業計画について		
内 容	事務局より、平成 27 年度保健事業計画について説明を行った。		
審議経過	委 員	水痘の予防接種は平成26年度から事業の対象となったということであるが、「おたふく風邪」は対象とならないのか。また対象となるように検討できないのか。	
	事務局	現時点で、国で検討中である。外国とのワクチンギャップを解消する方向で進んでいるので、今後対象となることも考えられる。	
	委 員	不育症治療費助成の事業費として1件分が見込まれているが、件数の根拠はどういったものか。	
	事務局	他自治体の実績として1～2件程度であったためである。	
	委 員	不育症治療費助成限度額が30万円ということだが、高額ではないか。	
	事務局	保険適用外であり治療費総額が高額なため、限度額は妥当であると考えている。なお、近年では保険適用の治療も出てきている。	
	委 員	母子家庭、父子家庭を見守るような事業は検討できないか。	
	事務局	母子保健推進員にお願いできればと考えている。	
	委 員	母子家庭、父子家庭では日中働きに出られている場合がほとんどであると思うので、前述の事業を行うのであれば、訪問時間なども考慮していただきたい。	
	事務局	今後検討する。	
委 員	がん検診などと併せて、骨粗しょう症検診も事業として取り組めないか。		
事務局	以前は行っていたが、現在は実施していない。今後検討する。		
	他に発言はなく、審議の結果、平成27年度保健事業計画については了承された。		
その他			

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	健康づくり課
議 題	6 その他		
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局より新型インフルエンザ等対策行動計画について説明を行った。 ・事務局より「ゆっつらくん体操」について説明を行った。 		
審議経過	事務局	(嬉野市で策定している新型インフルエンザ等対策行動計画を資料に沿って説明。)	
	委員	(特に意見等なし)	
	事務局	(市で作成した「ゆっつらくん体操」について説明。CD、DVDを医療機関へ配布し、PRをお願いすることを説明。)	
	委員	(特に意見なし)	
	事務局	(市情報公開条例の改正により本会議が原則公開となることについて説明。)	
	委員	(特に意見なし)	
《協議事項すべて終了、ほかに発言等もなく、閉会(市民福祉部長)》			
その他			